

福島県へ来らせ!! (観光ガイド)



霞ヶ城公園

JR東北本線二本松駅の北約1kmにあり、戊辰の役で焼け落ちるまでの226年間、二本松藩丹羽氏の居城だった城跡一帯を中心に、「黒塚伝説」で知られる安達ヶ原(二本松駅の東方約2km)を含む自然公園です。現在は、再建された真輪門・二階櫓・多間櫓などが往時をしのばせています。四季折々、古城の風情に遊ぶ人々の姿が絶えません。桜の春と、菊花の秋がハイライト。特に毎年10月から11月に開かれる「二本松の菊人形」は、その伝統規模ともに全国有数の催しとして知られています。



相馬野馬追

7月23日から25日、開催する国の重要無形民俗文化財で、日本を代表する文化行事となっている。鎧・兜に身をつつみ、旗をかかげてお供をしたがえた騎馬武者が出陣する。先祖伝来の甲冑に身を固めた600余騎が威風堂々と居並び、兜を脱ぎ旗指し物を風になびかせての甲冑競馬がある。神旗争奪戦は数百騎の騎馬による勇壮果敢な御神旗の奪い合いで、戦場を思わせる祭場は興奮のうずりに巻き込まれる。

猪苗代湖

全国3位の面積を持つ淡水湖。周囲55.32km、最大深度93.5m、面積103.32平方キロメートルで、磐梯山の四季折々の雄姿を映すことから「天鏡湖」の別名も。入り組んだ岬、白砂青松の浜と変化に富んだ趣を見せ、夏はヨットやウインドサーフィンなどウォータースポーツの基地として、冬は白鳥の飛来地として多くの人でにぎわいます。磐梯朝日国立公園内の湖。猪苗代湖と磐梯山の姿は会津を代表する景観。湖上遊覧やキャンプの他、様々なマリンスポーツが楽しめる。



■会津：福島県西部地域。東の奥羽山脈を境とした会津盆地を中心とした地域です。

大内宿

江戸時代には会津西街道の宿駅として栄え、旅の要所として重要な役割を果たしてきた地域。整然とした屋敷割や本陣、脇本陣など当時の姿をとどめている。国重要伝統的建造物群保存地区。街道沿いに並ぶかやぶき屋根の家々。まるで江戸時代にタイムスリップしたかのような錯覚におちいる。街の奥には神社があり、そこに登ると大内宿を一望できる。奥深い会津の山々とあいまって、とても遠くまで来たな、という旅情を感じさせる。

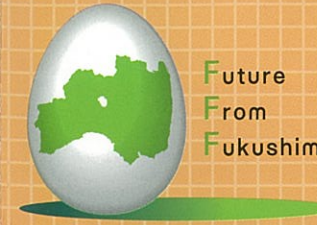


三春滝桜

樹齢1000年以上と推定される国指定天然記念物のベニシダレザクラで、日本三大桜のひとつに数えられています。薄紅色の小さな花を枝いっぱいに咲かせ、その姿が滝のように見えることから名がついたとも言われています。車イス使用者対応トイレ有。
おすすめ写真スポット：開花時は多くの来場者があるため、早朝(日の出)の時間帯の撮影がおすすめです。朝陽を浴びた滝桜は綺麗です。

スパリゾートハワイアンズ

2012年2月8日、グランドオープンいたしました。みなさんの笑顔に励まされ、その笑顔のためにこの日を迎えられることに感謝いたします。豊富な湯量の温泉を利用したアミューズメントスペース。ウォーターパークには大プール、ウォーターライダー、フラ&タヒチアンダンスなど遊びのメニューがいっぱい。スプリングパークには様々な種類の温泉があり、日本一の大露天風呂「江戸情話与市」やスパエステ「ウィルポート」がおすすめ。車イス貸出可。



ふくしまからはじめよう。

ふくしまからありがとう 復興レター 創刊号

平成24年3月

復興レター創刊のご挨拶

春霞のただよう季節となりましたが、皆様にはいかがお過ごしでしょうか。早いもので、平成23年3月に発生した東日本大震災から一年が過ぎました。この間、農林水産省と各道府県の延べ300人にも及ぶ職員の方々に応急工事の実施や災害査定対応にあたって頂き、御陰を持ちまして、本年1月までに災害査定を終了することができました。これもひとえに、多くの皆様の御支援によるものと感謝しております。一刻も早く農業に携わる人々が再び笑顔とやりがいを持って農業を営むことができるよう、農業生産の基盤である農地や農業用施設を復旧させることが私たちに課せられた責務であり、今後ともなお一層努力を傾注してまいります。福島県農村振興技術連盟では、ご縁あって当県支援に赴いて頂いた方々との絆を持ち続けたいとの考えから、年1回ではありますが、被災地の復旧・復興の様子や現場からの声などをお伝えしていくこととしました。大震災から季節が巡り被災地でも桜の花が咲くように、大きな打撃を受けた当県の農業農村も必ず立ち直り満開の花を咲かせます。是非、皆様にはお力添えをいただいた福島県の復興状況を見に来ていただくとともに、これからも当県の応援団となっていただきますようお願い申し上げます。「復興レター」創刊のご挨拶といたします。



福島県農村振興技術連盟委員長 梅村正敏 (福島県農林水産部次長 (農村整備担当))

3.11のつめ跡



約350haが水没した八沢地区 (相馬市・南相馬市)



ガレキが押し寄せた 芹谷地排水機場 (相馬市)



決壊した藤沼湖 (須賀川市)

●詳細な被害状況等は、福島県農村計画課のホームページに掲載の『農空間』50号をご覧ください。

復旧に向けた取り組み

ライフラインの確保や二次災害の防止のため、緊急的に復旧の必要がある農業集落排水施設、農業用施設、海岸堤防及び湛水防除施設については、優先的に応急工事が進められました。また、平成23年5月より着手した災害査定も、警戒区域等を除いて完了することができました。

■ H23年度災害査定結果 ■

H24.3.1時点

区分	東日本大震災	
	箇所数	金額(千円)
農地	570	42,411,526
ため池	261	9,256,640
頭首工	30	605,860
水路	550	7,973,185
道路	311	1,519,740
橋梁	7	44,624
揚水機	79	12,301,245
堤防	4	1,730,827
海岸保全施設	13	6,821,098
生活関連	117	7,474,130
除塩	87	387,992
合計	2,029	90,526,867

※国直轄災害含む



応急復旧した新田排水機場
(相馬市)

全国からの温かい支援

福島県及び県内の市町村では、農林水産省及び26道府県などの農業土木技術職員の支援をいただきながら、災害の対応をしてきました。

これまでご支援いただいた方々は、4,109人・日（H24年2月末時点）にのぼり、市町及び県農林事務所において、災害査定に向けた現地調査に始まり、査定まで災害業務全般にわたって重要な役割を果たしていただきました。

現在は、相双地方の復旧工事の発注に向けて、ご尽力いただいております。

◎支援技術者に聞きました◎

Q1. 被災の状況を見ての感想・印象は？

A1. 津波による甚大な被害を実際に見て、その脅威を実感しました。

Q2. どのような仕事をさせていただきましたか？

A2. 県営では場整備を実施する7地区の事業計画書を作成しました。実施する事業が変更になることや、非農用地の計画が確定しない等の状況で進めていくことの難しさを実感しました。

Q3. 福島県へのメッセージをお願いいたします。

A3. 福島県の職員の方が、未曾有の大災害に対して、前向きに取り組む姿勢がとても印象的でした。今後の復興への道のりは、とても長い期間が予想されますが、くれぐれも体に気をつけてがんばってください。



静岡県 秋山 哲也さん
派遣期間：1か月（H24.2）
派遣先：相双農林事務所

「ありがとう」掲示板

南相馬市への災害復旧支援派遣を受けて

東日本大震災に被災し原発事故での警戒区域・緊急時避難準備区域等の規制のもと、広大な被災農用地の復旧をどのようにして行くか、スタッフ総勢5名（鹿島区1名、原町区4名）で途方に暮れていたところ、国及び県から5月より2名、9月より5名の応援派遣をいただき、災害調査・査定設計積算・地元協議と共に活動し、地元復旧の進行と職員の意欲向上に大いなる支援となりました。派遣に来られた方またこの制度に関わられた方に改めて御礼申し上げます。

南相馬市経済部農林水産課整備係
係長 富田 天寿



《支援職員の皆さんとともに》

後列(左から)三瀬さん(愛媛県)、熊耳、境田、大原さん(愛媛県)
中列 発田
前列(左から)富田、福士さん(青森県)、鹿内さん(青森県)、野村さん(富山県磯波市)

相馬市からありがとう

「子供たちの外遊び」、「地元産の米を食べる」、「海岸線の景色」、「ふとんで安眠できるということ」、「大切な家族や仲間の命」

これまで当たり前に行っていたことが、できなくなり、普通に生活することがどんなに幸せだったのか改めて知ることとなった今回の震災。相馬市に住んでいる人は大なり小なり色々な影響を受けました。このようななか相馬市に支援に来ていただいた多くの方には本当にお世話になりました。

とても不便な状況のなかで最大限の力で助けていただいたことに心から感謝します。相馬市の挑戦はまだ始まったばかりです。ともに前を向いて再生へ進んで行きましょう。相馬市へ来て一緒に働いたことが、皆さまの忘れ得ぬ記憶となることを心から期待しています。

全ての出会った方々に感謝します。

相馬市 主査 米倉利宗



須賀川市がんばっています

本市では、9月から3カ月間に亘り、静岡県、長野県、栃木県、群馬県からの派遣職員の協力を得て、災害査定など今回の震災対応に当たってきました。本市への支援派遣に当たり各県職員の皆様には、衷心より御礼申し上げます。特に静岡県の職員の方には、台風15号の影響で交通機関が不通の中、郡山市の宿泊先から十数kmあるこの職場まで、2日間も徒歩通勤されたその使命感に敬服いたしました。皆さんの支援により、本市の震災復興が大きく前進し、感謝申し上げます。

須賀川市産業部農政課 小針 成次

